

エイジフレンドリー シティ通信

2022年
発行号

秋田市は高齢者にやさしい都市の実現を目指しています

大人は教育！
きょういく
今日行くところが大事です。



「梵」主宰の三浦なお子さんと皆さん



「COZY(コージー)サークル」の皆さん

秋田市では、世界保健機関(WHO)が提唱する「エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現」に取り組んでいます。高齢になっても、豊かな経験や知識を生かし、活躍できるまちを目指しています。

05 地域別 ワークショップ から



第2次行動計画では、エイジフレンドリーの視点で地域別のワークショップを開催してきましたが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により規模を縮小して開催するため、事前に書き出した課題や解決策となるアイデアを持ち寄り、話し合いました。

まとめ

- 多世代交流は大事だが、それ以前に、同世代の交流すらできていない現状がある。地域で同世代の繋がりを増やしながら、徐々に多世代交流にもっていく等の社会実験が有効ではないか。
- 免許返納者が増え、移動手段の確保は必要不可欠。その際、バスの本数を増やすというより、スムーズに移動ができることを考えていくべきなのではないか。
- 長く地域で自分らしく生きていくためには、身近に頼れる人をつくっておくことが大切。
- 身近な所でフラッと集まって買い物くらいはできる、小さくても軽快な拠点。そういう場所を増やしていくことが大切。

後藤純先生(東海大学特任教授)の講評より



04

第3次秋田市 エイジフレンドリーシティ行動計画は、 令和4年4月スタートです

エイジフレンドリーシティは高齢者にやさしい都市と訳され、本市はその実現に向け、さまざまな観点から行動計画に基づき取り組んでいます。

第3次計画では、エイジフレンドリーな取組を市民の皆さんにもっと知っていただきたいと考えています。また、パートナー事業者とともに、誰もが心豊かにいきいきと暮らせるよう、秋田市に住んでよかったと思えるよう、5年間の計画期間で取り組んでいきます。



information



官民協働により構築したシニア情報ポータルサイトです。さまざまな情報を自由に楽しむことができ、自らが文章や写真を投稿し、情報発信・共有できる参加型コンテンツを導入しています。パソコンやスマートフォン、タブレットからどなたでもご覧いただけます。ぜひご利用ください。

秋田市暮らしに 役立つサービス

高齢者の暮らしに役立つ、介護保険以外のサービスを行う事業者等の情報を集めた冊子「秋田市暮らしに役立つサービス2022」を作成しました。

長寿福祉課、各市民サービスセンター、駅東サービスセンター、各地域包括支援センターなどで配布しています。



取組紹介の
ページへ



発行 秋田市 長寿福祉課 エイジフレンドリーシティ推進担当
電話 (018) 888-5666 FAX (018) 888-5667 Eメール ro-wflg@city.akita.lg.jp



01 COZYサークル の皆さん

シニアはパソコンが苦手と思われるがちですが、このグループの皆さんは違います。新型コロナウイルス前に秋田市が主催していたパソコン講座の講師メンバーです。

COZYは、居心地が良いという意味。「ITに弱い高齢者を応援しよう」という趣旨で、当時の手形郵便局長さんほか有志7名が2000年に設立しました。3代目理事長の長岐さんは「精神を今も引き継ぎ、受講生には分かりやすく、繰り返し、丁寧にサポートしている」と言います。サークル会員は現在22名。性別、年齢を超えて登録があり、講座に

よって講師陣が組まれます。講座終了後は参加者アンケートを見ながら感想や反省を話し合い、そこから次のアイデアが生まれ、常に進化しています。

取材日は、初心者向け講座の打合せ。ゴルフにも熱心な井上さんは「毎回学びがあるのが楽しい」と言い、稼農さんは「20年前、これからはパソコンが必要と考え、前知識なしで参加した。今ではコロナ禍でもITを使って買い物や人との交流に困らなかった」と言います。この日講師役の伊藤さんは「一緒に連れて参加した子どもも成人して」と。長く付き合えるのは居心地がいいからなのだろう。ラジオ少年だった事務局長の遠藤さんは人望が厚く会員から高い信頼を得

る、現在85歳です。その学ぶ姿勢が若々しさの秘訣なのかもしれません。高齢者にこそITが必要と言われる昨今。本当に心強い活動です。毎月第3土曜日は、秋田県生涯学習センターでパソコンの講座を開催しています。

COZYサークルさん
情報はこちら→



左から長岐さん、稼農さん、井上さん、伊藤さん、遠藤さん

大人は教育! きょういく 今日行くところが 大事です。



02 「梵」主宰の 三浦なお子さん と皆さん

当初は薬膳を作る目的で開始したクラスが、今は身近な材料で身体に良い食事を作り、毎日の献立に生かしています。スタートは20年以上も前のこと。皆で作って、食べます。その後、持ち寄りのおやつを、作り方を教わりながら味わいます。おやつがいっぱいあるのは、このクラス

の特徴です。取材日は、保護犬を飼っているKさんが先生になり、ハーブがたっぷり入ったソーセージを作っていました。先生が替わることもある自由さも特徴の一つです。羊腸に肉を詰める難易度の高い作業を、料理歴の長いRさん、Jさんはあっという間に習得してしまい、楽しそうです。皆、住む地域も異なり、この会での



左からKさん、Rさん、三浦さん、Jさん



情報交換が楽しいと言います。食の話はもちろん、政治、ペット、時事ネタと毎回話題が尽きません。

三浦なお子さん(81歳)は、料理の先生であると同時に、仲間でもあります。料理教室として自宅を開放するようになり、もう35年。三浦さんは「若い人からパワーをもらおう」と言いますが、他のクラスの生徒である若い人は、「三浦先生からパワーをもらおう」と言っています。

人のためにすることがある、今日行くところがあることは、とても素敵なことですね。



03 パートナー事業者の優れた 取組を表彰しました



民間事業者や団体がパートナーとして本市と連携し、エイジフレンドリーシティの実現に向け民間サイドから取り組む「秋田市エイジフレンドリーパートナー事業」は、2015年にスタートしました。これまでの優れた取組を称え、このたび初めて表彰しました。



最優秀賞

株式会社K&Kメルシ
(ローソン秋田駅西店)

コンビニ内に介護相談窓口の設置や地域住民の集える場所の提供など、高齢者に寄り添う取組を実施



優秀賞

株式会社ALL-A

参加型コンテンツのサイトやリビングラボの運営など新たな分野を開拓し、高齢者の社会参加の場を創出



エイジフレンドリー賞



株式会社秋田キャッスルホテル

社内にエイジフレンドリー委員会を設置し、社員の意識向上を図りながら、ホテルならではの取組を推進

株式会社秋田銀行

「あきぎん長生き学校」を開校し、高齢者の生きがいや教養を高める場を創出。他の事業者と共同した、高齢者向けの商品開発にも注力

秋田市通町商店街振興組合

特別養護老人ホームでの出張商店街の実施など、商店街全体でエイジフレンドリーシティを推進

協同組合秋田市民市場

近隣病院と連携した無料健康相談会や利用者の声を反映した少量販売など、利用者目線で取組を実施

株式会社一ノ関時計店

コインバス資格証明書提示による割引のほか、地域で積極的にエイジフレンドリーの取組を実施

第一生命保険株式会社秋田支社

自社作成のエンディングノートを広く市民に提供し、人生の振り返りや家族への思いをサポート

山二建設工業株式会社

高齢者の積極的雇用のほか近隣の清掃活動など地域の安心につながる取組を実施

アシスタ

行政では手の届きにくいサービスを学生が提供するアイデアで、高齢者の元気の素、学生の成長につながる取組を実施